

第21回情報システム学会全国大会・研究発表大会報告

さる11月29日、11月30日に、情報システム学会全国大会・研究発表大会が青山学院大学・青山キャンパスで開催されました。本大会のテーマは、「人間中心の社会の維持・発展を目指して～生命情報、社会情報を重視した情報システムの実現～」としました。本大会では、研究発表（ロング7件、ショート9件）、ポスターセッション（15件）、研究会報告（2件）、合計33件の報告があり、活発な議論が交わされました。

基調講演では河島茂生氏（青山学院大学 総合文化政策学部 総合文化政策学科・准教授）から「社会 - 技術システムの倫理的デザイン」と題して、倫理を中心に据えたく社会 - 技術>システムを構築する必要性とその倫理的デザインの本質についてお話し下さいました。情報システム学会20周年記念鼎談では「浦昭二先生の教えを礎に、継承と改革の未来へ」をテーマとして、竹並輝之氏（新潟国際情報大学名誉教授）からは「浦先生の「人間中心の情報システム」への想い」、小林満男氏（新潟国際情報大学）からは「実務経験をふまえた情報システム教育の実践 “情熱を持った継続”は力なり」、砂田薰氏（国際大学グローバル・コミュニケーション・センター）からは「AI時代における「人間中心の情報システム」～北欧のデジタル化を参考に～」について、それぞれお話し下さいました。引き続き、「情報システム学」の電子出版に関して新情報システム学体系調査研究委員会報告がありました。その後、「浦昭二記念賞」の表彰式が執り行われ、砂田薰氏と蒼海憲治氏に特別賞が贈られました。

情報システム学会20周年記念ワークショップでは、「人間中心」を再考する、「情報システム学とは」、「自治体システムの未来を考える」の3テーマについてグループに分かれてディスカッションが行われ、各グループでまとめた内容が報告されました。

本大会の締めくくりとして「20周年功労者表彰式」が執り行われ、池辺正典氏（文教大学）、岩崎和隆氏（神奈川県庁）、魚田勝臣氏（専修大学名誉教授）、金子聰氏（前日本アイ・ビー・エム（株））、渋谷照夫氏（前NECソフト（株））、中嶋闇多氏（信州大学）、芳賀正憲氏（故人）、三村和子氏（臨床心理士・公認心理師）に賞が贈られました。

本大会実行委員、本学会研究普及委員、本学会事務局、開催校事務局ならびに学生アルバイトの多大なご協力により、本大会を無事に運営することができました。本大会参加者ならびに関係者の皆様に感謝申し上げます。当日は学生を含め81名の参加があ

り、盛会のうちに本大会を終えることができました。末筆とはなりますが、本大会の開催にあたり、企業2社から協賛を頂きました。また15の学会、協会、企業からご後援を頂きました。紙面上からではございますが、協賛、ご後援を頂いた団体の皆様に、ご報告と御礼を申し上げます。（大会実行委員長 森田武史）